

新型コロナウイルス感染症および熱中症対策ガイドライン

新型コロナウイルス感染防止策

- 以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせる
 - ・体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
 - マスクを持参すること（移動中や試合観戦、チームメイトと会話をする際はマスクを着用すること）
 - こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒、うがいを実施すること
 - 他の参加者、主催者スタッフ等との距離（2mを目安に（最低1m））を確保すること
 - ウォーミングアップ中や試合中、大会敷地内に唾や痰を吐かないこと
 - タオルの共用、水分補給用のコップやペットボトルを共有しないこと
 - 飲食については周囲の人となるべく距離を取って対面を避け、会話は控えめにすること
 - 飲みきれなかったスポーツドリンク等を指定場所以外（例えば走路上や植え込み、駐車場）に捨てないこと
 - 試合前はスタメン全選手に検温の実施およびアルコール等による手指の消毒を行い、体温が37.5°Cを超える場合は出場を控え、医療機関を受診すること。（選手交代時も同様とする）
 - 本大会では開会式、閉会式は行わず、順位決定後の表彰のみとし、プレゼンターと代表選手で握手は行わない。
 - 試合前、試合後の挨拶、握手は行わず、得点時などのハイタッチ、大声を出しての感情表現は控えること。
 - 試合開始前、前半終了時、試合終了後および選手交代時には、必ず手指のアルコール消毒等を行なうこと。
 - 試合終了後、昼食時には、手洗い、うがい、アルコール消毒等を徹底すること。
 - 移動、宿泊等の際には各チーム各個人にて、十分な感染症対策を行うこと。
 - 送迎等で保護者やチーム関係者が観戦する場合、他の観戦者との距離（2mを目安に（最低1m））を確保すること。
- ※万が一、参加チーム内で感染が確認された場合には、当該チームの大会参加はご辞退いただきます。
- ※来場者（保護者を含む）に関しては、感染症患者またはその疑いがある方が発見された場合に必要な範囲で保健所等に提出ができるよう、各チームで観戦者の管理（観戦にきた保護者の把握・記録）をして頂きますようお願い致します。

熱中症対策

- 公益財団法人 日本サッカー協会 熱中症対策ガイドラインに準ずる。
 - ・会場にWBGT計を備え、試合前にWBGT値が28°Cを超える場合は、Cooling Break(3分間)を設ける。
 - ・Cooling Break時には、選手・審判員は
 - ①日陰にあるベンチで休む。
 - ②氷・アイスパック等でカラダ(頸部・脇下・鼠蹊部)を冷やし、必要に応じて着替えをする。
 - ③水だけでなくスポーツドリンク等を飲む。
- ベンチを含む十分なスペースにテント等を設置し、日射を遮る。
- 前後半とも中間で飲水タイム(1分)を2回設ける。
- 大会本部には飲料と塩分補給用の食品等を用意し、参加者、審判、関係者に提供できる体制を整える。

大会期間中の健康チェックについて

- 試合当日は、各会場の大会本部宛に「健康チェックシートの提出」をお願い致します。
 - ※西武台高校会場については学校指定フォーマットをご利用ください